

料金設定について

- (1) ごみの排出抑制への動機付けが働く料金
排出量の抑制が家庭系収集ごみ有料化の主な目的であることから、排出抑制の動機付けが働く料金を設定する必要がある。
- (2) 合理的で市民の理解を得やすい料金
料金設定は、経済的な動機付けによりごみの排出抑制に導く一方で、市民の理解が得られるよう、過大な負担とならない料金が望ましい。有料化を実施している自治体では、1L当たり1円前後が多くなっている。
- (3) 収集・処分に要する費用の一定割合となる料金
家庭系収集ごみ有料化は、家庭系ごみの収集・運搬、中間処理、最終処分にかかるごみ処理費用の一部を手数料として、市民に負担してもらう制度であるため、ごみ処理経費から勘案して料金を設定する必要がある。
- (4) 県内自治体における状況
料金設定には、近隣の市町と均衡がとれた料金を設定する必要がある。

「一般廃棄物処理有料化の手引き」から抜粋

3-2. 手数料の料金水準

手数料の料金水準を設定する際は、

- ・一般廃棄物の排出抑制及び再生利用の推進への効果
 - ・住民の受容性
 - ・周辺市町村における手数料の料金水準
- などを考慮する。

<料金設定と世帯負担額の試算>

月10枚(可燃ごみ45Lのごみ袋を2枚/週、不燃ごみ20Lのごみ袋を2枚/月)使用し、
現在については、ごみ袋1枚あたりの料金を平均10円と仮定。

1L=0.5円とすると…

20L:10円 30L:15円 45L:22.5円



$(22.5円 \times 2枚 \times 4週) + (10円 \times 1枚 \times 2回) = 200円$
現在との比較⇒ $200円 - 100円 = 100円増/月$

1L=0.75円とすると…

20L:15円 30L:22.5円 45L:33.75円



$(33.75円 \times 2枚 \times 4週) + (15円 \times 1枚 \times 2回) = 300円$
現在との比較⇒ $300円 - 100円 = 200円増/月$

1L=1円とすると…

20L:20円 30L:30円 45L:45円



$(45円 \times 2枚 \times 4週) + (20円 \times 1枚 \times 2回) = 400円$
現在との比較⇒ $400円 - 100円 = 300円増/月$

1L=1.25円とすると…

20L:25円 30L:37.5円 45L:56.25円



$(56.25円 \times 2枚 \times 4週) + (25円 \times 1枚 \times 2回) = 500円$
現在との比較⇒ $500円 - 100円 = 400円増/月$

1L=1.5円とすると…

20L:30円 30L:45円 45L:67.5円



$(67.5円 \times 2枚 \times 4週) + (30円 \times 1枚 \times 2回) = 600円$
現在との比較⇒ $600円 - 100円 = 500円増/月$

1L=1.75円とすると…

20L:35円 30L:52.5円 45L:78.75円



$(78.75円 \times 2枚 \times 4週) + (35円 \times 1枚 \times 2回) = 700円$
現在との比較⇒ $700円 - 100円 = 600円増/月$

<ごみ処理に係る経常的経費からの料金設定>

●決算額

年度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	平均
収集運搬経費(千円)		249,741	252,475	264,461	258,606	245,514	254,159
中間処理経費+最終処分経費+その他の経費(千円)		956,714	1,052,058	1,051,097	1,179,928	1,200,898	1,088,139
内訳	中間処理経費(千円)	907,151	995,810	959,182	1,085,613	1,073,535	1,004,258
	最終処分経費(千円)	45,828	52,044	88,468	85,030	123,849	79,044
	その他の経費(千円)	3,735	4,204	3,447	9,285	3,514	4,837
合計(千円)		1,206,455	1,304,533	1,315,558	1,438,534	1,446,412	1,342,298

●ごみ処理量

年度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	平均
家庭系ごみ(t)	収集	18,130	18,075	18,244	18,120	17,963	18,106
	直搬	2,162	2,166	2,163	2,176	1,951	2,124
事業系ごみ(t)		5,021	4,513	4,159	4,104	4,356	4,431
合計(t)		25,313	24,754	24,566	24,400	24,270	24,661

家庭系収集ごみ1kg当たりの処理費用

$\text{収集運搬経費} + ((\text{中間処理経費, 最終処分経費, その他の経費の合計}) \times \text{家庭系収集ごみ量} / \text{ごみ処理量})$
 $= 254,159 \text{千円} + (1,088,139 \text{千円} \times 18,106 \text{t} / 24,661 \text{t})$
 $\doteq 1,053,066 \text{千円} (\text{家庭系収集ごみ処分費用})$
 $\Rightarrow 1,053,066 \text{千円} \div 18,106 \text{t} \doteq 58.3 \text{円/kg} (\text{家庭系収集ごみ1kg当たりの処理費用})$

※データは平成21年度から平成25年度の平均値を使用

45Lサイズのごみ袋1袋当たりの処分費用



45Lサイズのごみ袋
 \Rightarrow 約4.5kg
 (45L \times 0.1kg/L)
 排出重量調査

$58.2 \text{円} \times 4.5 \text{kg} = \text{約} 261.9 \text{円}$

受益者負担率(25%)を考慮すると…

ごみ1袋当たり約65.5円
 (261.9円 \times 25%)
 \Rightarrow 約1.5円/L

<県内自治体における状況> (排出量単純比例型)

自治体名	導入年月	料金体系	徴収方法	可燃物	不燃物	資源 <small>有料化の対象は プラスチック製容器包装</small>	減免
津島市	S55.4～	排出量 単純比例型	指定袋	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	・ボランティア活動 から発生するごみ
犬山市	H21.12～	排出量 単純比例型	指定袋	45ℓ:30円/枚 30ℓ:20円/枚 20ℓ:10円/枚 10ℓ:7円/枚	無料	無料	・紙おむつ ・ボランティア活動 から発生するごみ
常滑市	H24.10～	排出量 単純比例型	指定袋	45ℓ:50円/枚 30ℓ:30円/枚 20ℓ:20円/枚 10ℓ:10円/枚	無料 (資源としての扱い)	無料	・紙おむつ ・ボランティア活動 から発生するごみ ・生活保護受給世帯 から発生するごみ
知立市	H10.4～	排出量 単純比例型	指定袋	35ℓ:13円/枚 18ℓ:10円/枚	無料	45ℓ:13円/枚 30ℓ:10円/枚	・ボランティア活動 から発生するごみ
日進市	S45.6～	排出量 単純比例型	指定袋	35ℓ:15円/枚 20ℓ:10円/枚	35ℓ:15円/枚	無料	・ボランティア活動 から発生するごみ
愛西市	H17.4～	排出量 単純比例型	指定袋	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	
弥富市	H18.4～	排出量 単純比例型	指定袋	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚	45ℓ:20円/枚	・ボランティア活動 から発生するごみ
みよし市	H22.1～	排出量 単純比例型	指定袋	35ℓ:15円/枚 20ℓ:10円/枚	35ℓ:15円/枚	無料	・ボランティア活動 から発生するごみ
あま市	H22.3～	排出量 単純比例型	指定袋	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	40ℓ:20円/枚 25ℓ:15円/枚	・ボランティア活動 から発生するごみ
長久手市	H24.1～	排出量 単純比例型	指定袋	34ℓ:15円/枚 23ℓ:10円/枚 17ℓ:8円/枚	34ℓ:20円/枚 19ℓ:15円/枚	45ℓ:15円/枚	・ボランティア活動 から発生するごみ

<県内自治体における状況> (一定量無料型)

自治体名	導入年月	料金体系	徴収方法	可燃物	不燃物	資源	減免
碧南市	H11.7～	一定量無料型	指定袋	40ℓ:45円/枚 25ℓ:30円/枚	無料	無料	・ボランティア活動から発生するごみ
東海市	H7.12～	一定量無料型	指定袋	40ℓ:110円/枚	30ℓ:110円/枚	無料	
高浜市	S45.6～	一定量無料型	指定袋	35ℓ:40円/枚 25ℓ:30円/枚	無料	無料	

○家庭系直接搬入ごみについて…現在12.3円/kg, 50kgまでは無料

家庭系収集ごみ有料化に当たり、清掃センターに直接搬入する場合のごみ処理手数料についても、再考する必要がある。

ごみ処理手数料は、平成23年4月に10.5円/kgから12円/kgに改正し、平成26年4月に消費税改正に伴い、12.3円/kgとなっており、50kgまでは無料。

データは平成21年度から平成25年度の平均値を使用

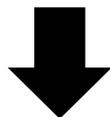
家庭系直接搬入ごみ1kg当たりの処分費用

(中間処理経費,最終処分経費,その他の経費の合計) × 家庭系直搬ごみ量/ごみ処理量

= 1,088,139千円 × 2,045t / 24,582t

≒ 90,523千円 (家庭系直接搬入ごみ処分費用)

⇒ 90,523千円 ÷ 2,045t ≒ 44.3円/kg (家庭系直接搬入ごみ1kg当たりの処分費用)



受益者負担率(25%)を考慮すると…

約11.1円/kg (44.3円 × 25%)

- ・家庭系収集ごみ処理手数料の料金設定を1L(≒0.1kg)=0.75円とすると…  約 7.5円/kg
- ・家庭系収集ごみ処理手数料の料金設定を1L(≒0.1kg)=1円とすると…  約10.0円/kg
- ・家庭系収集ごみ処理手数料の料金設定を1L(≒0.1kg)=1.25円とすると…  約12.5円/kg

有料化を実施している自治体では、清掃工場に直接搬入する場合のごみ処理手数料を収集ごみ処理手数料と比較して安く設定している傾向がある。